

今年の
抱負高度医療機器とホテルレベルのサービスで
健康管理を支援する人間ドック

社会医療法人 大道会 帝国ホテルクリニック（大阪市北区天満橋1-8-50 帝国ホテル大阪3階） 所長 鍵谷 俊文



宮本 統括部長

鍵谷 所長

はホテル開業と同時に人間ドック専門施設として開院しましたから約30年前になります。

1日コース（半日）と1泊2日コースがあり、1日（半日）コースでの昼食や、1泊2日コースでの宿泊と食事は、帝国ホテル大阪をご利用いただきます。一流ホテルならではのくつろぎの中で過ごしていただける人間ドックとして喜んでいただけています。

当クリニックではより精密な診断を行うために、人間ドック健診に適切な医療機器を導入し、質の高いサービスを提供しています。中でもマルチ・

ディレクターCTはこれまで発見が困難だった微小肺がんも捉えることができる高精度のCTです。またスタッフは、がん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病の早期発見とその予防に注力しています。常に受診者の視点に立ち、皆様の健康について真剣に正確に診断し、当日に判明する結果について

は面談でわかりやすく説明できるよう努めています。画像診断にあたっては、複数のスタッフの目を通してダブルチェック、時にはトリプルチェックを行っています。検査結果は、コンピュータ画面を用いたビジュアルでわかりや

すい説明を行い、結果報告書も受診者各人の問題点やその対策がはっきりするように工夫をしています。丁寧な説明が特徴です。精密検査が必要な場合には、受診者の方が希望される病院への紹介状をお送りしています。

当クリニックの財産と言えるのは、医療機関に紹介状を送った場合、ほとんど結果が返ってきます。当クリニックの検査の精度を見極める上でも、あるいはその後の経過を知る上でも、その返信は非常に大切なものです。当人間ドックの常勤スタッフは40数名おりますが、接遇に関しては帝

国ホテルと同レベルで受診者の方々に対応しています。質の高い技術レベルとサービスの提供に努め、当クリニックの精度管理・施設設備・職員教育などに対し、1998年には日本総合健診医学会より「優良総合健診施設」の認定を、一般社団法人日本病院会や健康保険組合連合会からは「1日人間ドック（総合健診）」の実施指定」、そして日本人間ドック学会では「人間ドック健診施設機能評価」の認定を受けています。

8割くらいは健保組合を通じての受診者で、基本的には毎年決まって受診されます。最近はお夫婦で受診される方が多いのと、年齢的にも50代60代70代の方が多くなってきました。その年代でもお仕事をされている方が増えてきたのだと思います。特に60代以上の方の受診は大事だと思います。例えば大腸がんでも便潜血検査から大腸内視鏡検査が必要になる方が2%、さら

にその2%が大腸がんの方です。毎年2〜3人おられます。一般的な大腸がんの統計と同じです。

3年4年、間が開いて受診された時に進行がんなどが見つかると、毎年受診されていたら早期発見できたのに、と残念に思います。やはり定期的な受診が大事です。

◆鍵谷 俊文 プロフィール

- 1979 大阪大学医学部卒業
- 大阪大学医学部附属病院臨床研修
- 1980 国立大阪南病院 内科・循環器科 勤務
- 1982 大阪大学医学部第一内科 勤務
- 1987 米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)留学
- 1989 大阪大学医学部第一内科 勤務
- 1993 全日本空輸株式会社
大阪健康管理センター 主席産業医
- 2013年4月 帝国ホテルクリニック所長(理事) 就任